

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ $\triangle$ 8 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		—	—
電氣的性能	接 触 抵 抗	mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト mΩ以下 外部コンタクト mΩ以下	—	—
	絶 縁 抵 抗	DC 250Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC 300Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流 2 mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 $\triangle$	周波数 0.045 ～ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	○
		周波数 6 ～ 8 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	○
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
機械的性能	単体挿抜力 (中心コンタクト)	HRM側 $\phi 0.9017^{+0}_{-0.0025}$ の鋼製ピンで測定する。	差込力 --- N 以上 引抜力 0.3 N 以上	—	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 --- N 以下 引抜力 --- N 以上	—	—
	繰り返し動作	HRM側 1000 回の抜き差しを行う。 U.FL側 10000 回の抜き差しを行う。	① U.FL側可動ピンの動作に問題ないこと ② 電圧定在波比規格を満足すること。	○	—
	耐 振 性	周波数 ～ Hz, 片振幅 mm, 加速度 m/s ² で 軸方向各 時間 試験する。	① s以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	耐 衝 撃 性	加速度 m/s ² , 持続時間 ms, 正弦半波 軸方向各 回試験する。			
	ケーブルラumpf 部の 引っ張り強度	---mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引っ張り, 最大荷重を確認する。	最大荷重 ---N以上	—	—
環境的性能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 ～ °C, 湿度 ～ %中に 10 サイクル (240時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: MΩ以上 (高湿時) ② 絶縁抵抗: MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	温度サイクル	温度 → ～ → → ～ °C 時間 → → → 分 を サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
	$\triangle$ 塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	電圧定在波比規格を満足すること。	○	—
	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
$\triangle$	3	DIS-D-00004690	NK. NINOMIYA	TS. NOBE	20200207
備考			承認	I.J. MITANI	20070528
			検 図	KY. SHIMIZU	20070528
			担 当	TO. KATAYAMA	20070528
			製 図	NK. OOSAWA	20070525
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-304749-40		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HRMJ-U. FLP-ST2 (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0391-8-40	1 1/1